

10月のてがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。

次回11月のてがたんは11月11日(土)で、テーマは「白樺派が見た我孫子の自然」です。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→親水広場→鳥の博物館
- 観察日時と天気：2017年10月14日(土) 10:00~12:00 くもり時々小雨
- 参加人数：8名(大人6名、小学生以下2名)
- 市民スタッフ：5名(木村稔、染谷迪夫、石原直子、小泉伸夫、竹本周平)
- 鳥博職員：2名(岩本二郎・小田谷嘉弥)

観察した生き物の記録(下見を含む)

【鳥類】

カモ科：ヨシガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、スズガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモメ科：ユリカモメ/ミサゴ科：ミサゴ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ(声)/モズ科：モズ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：ヤマガラ、シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ(声のみ)/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

【鳥以外の脊椎動物】

ウシガエル、ニホンアマガエル、カダヤシ、タヌキ(足あと)

【昆虫】

アミメカゲロウ目：ウスバカゲロウ/トンボ目：ノシメトンボ、アキアカネ/チョウ目：ツマグロヒョウモン、キタテハ、ヒメアカタテハ、ルリタテハ、モンシロチョウ、キタキチョウ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ムラサキシジミ、イチモンジセセリ、オオミノガ、シロヒトリ(幼虫)、トビイロスズメ(幼虫)、オオケンモン(幼虫)/コウチュウ目：ナナホシテントウ/カマキリ目：カマキリ、オオカマキリ、コカマキリ(卵)/バッタ目：オンバッタ、ショウリョウバッタ、ヒシバッタ、コバネイナゴ、クルマバッタモドキ、トノサマバッタ、ヒナバッタ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、ミツカドコオロギ、ハラオカメコオロギ、シバズ、マダラスズ、アオマツムシ、カネタタキ、キンヒバリ、ウスイロササキリ、ヤブキリ?/カメムシ目：ヨコヅナサシガメ、オオホシカメムシ、プラタナスグンバイ、ツノロウカイガラムシ(またはルビーロウカイガラムシ)/ハチ目：オオスズメバチ、フタモンアシナガバチ、コハナバチ、ベッコウバチの仲間、スズバチの仲間(巣)/ハエ目：キンバエ

【クモ・その他節足動物】

ジョロウグモ、ナガコガネグモ、コクサグモ、ゲジ、ワラジムシ

【花・実】

花|キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、アキノノゲシ、ハキダメグク、オオジシバリ、セイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、シロノセンダングサ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ、ヒレタゴボウ/フウロソウ科：ゲンノショウコ/カタバミ科：カタバミ、オッチチカタバミ/マメ科：アカツメクサ、ヤマハギ/タデ科：ミゾソバ、イヌタデ、オオイヌタデ、ポントクタデ/シソ科：ヒメジソ/ヒユ科：ナガエツルノゲイトウ/ツユクサ科：ツユクサ/クマツヅラ科：クマツヅラ/イネ科：コブナグサ、/アサ科：カナムグラ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/ムラサキ科：ハナイバナ/アゼナ科：アゼナ/ウリ科：カラスウリ/ユリ科：タカサゴユリ/

実|タデ科：イシミカワ/アカネ科：ヘクソカズラ/バラ科：ピラカンサ/ミズキ科：アメリカハナミズキ/ツバキ科：サザンカ/モクセイ科：キンモクセイ/クスノキ科：シロダモ/モチノキ科：クロガネモチ/エゴノキ科：エゴノキ/アサ科：ムクノキ/エノキ科：エノキ/スズカケノキ科：アメリカスズカケノキ/ヤマノイモ科：ヤマノイモ(栄養生殖)

【虫こぶ】

ヨモギハシロケタマフシ

【菌】

キツネノエフデ、ベッコウタケ

観察した生き物の記録



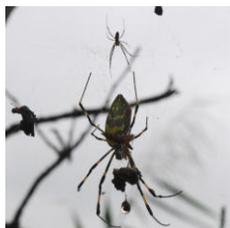
今回のてがたんのテーマは「ヒヨドリの渡り」でした。残念ながら悪天候のため渡りは見れませんでした。が、普段あまり目にしない雨の日の生き物の行動を観察することができました。



今月の案内人 木村稔さん、染谷迪夫さん



① 沼の上空を飛んでいたミサゴ



② 雌雄のサイズの差が大きいジョロウグモ



③ ニセアカシアについていたオオケンモン?の幼虫



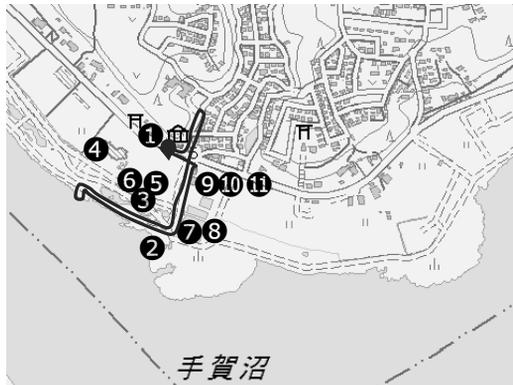
⑤ 青緑色に輝いていたキンバエ



⑥ 親水広場の林床に生えていたキツネノエフデ



④ 下見の際には、手賀沼を越えて南へ渡るヒヨドリが見られましたが、当日は雨のため渡らずに、林の中で鳴き交わしていました。



歩いたルートと観察した生き物



⑩ 植え込みの中にあつたモズのはやにえ(ガの幼虫)。モズは秋に作ったはやにえを食物の少ない冬に食べると考えられています。



⑦ 熟したムクノキの実は、甘酸っぱい味がしました



⑧ ムクノキの葉についていたオオホシカメムシ



⑨ サザンカの枝についていたカイガラムシの仲間



⑪ サザンカの枝についていたスズバチ?の巣

今月の鳥 ヒヨドリ スズメ目ヒヨドリ科

ヒヨドリの仲間は、世界に14属158種いて、アジアからアフリカまで広く分布しますが、日本のヒヨドリは其中でも最も北に分布する種です。多くのスズメ目の小鳥が夜間に渡りをしますが、ヒヨドリは昼間に大きな群れを作って渡りをします。我孫子市では一年中見られますが、秋から冬にかけて他の地域から渡ってくるものがあるようです。秋の9月下旬から11月にかけて、数百羽ほどの大きな群れになって南へ移動していきます。ヒヨドリの移動は主に晴れた日の午前中に見られ、普段より少し控え目な声で鳴き交わしながら、短い距離の移動を繰り返して移動していきます。11月いっぱいには観察できるので注目してみましょう。



トウネズミモチの実を食べるヒヨドリ